



# 城西大学 語学教育センター

## イギリス児童文学を研究する牟田先生にインタビュー

牟田有紀子先生の研究分野はイギリス児童文学です。

イギリス児童文学を調べてみると映画化やアニメ化された作品も多く、この作品もそうだったのかと思う名作がたくさんあります。

2019年6月18日(火)に先生の研究室を訪ねてみました。先生にイギリス児童文学について、また後期からはじまる授業「世界の文学B」でアメリカン・コミックスを取り上げることなどのお話を聞いてみました。



### Q 先生はイギリスが好きなのですか？

A 大好きです。イングランド中部にあるレスター大学のヴィクトリアン・スタディーズ(19世紀イギリス文化研究)という学科に1年間留学して修士号を取得しました。修士論文のテーマは、イギリス児童文学・文化についてでした。レスターは田舎ですがとても住みよい街でしたよ。

### Q イギリス文学に興味をもったきっかけは？

A 中学生の頃の読書体験です。そのころ、『秘密の花園』や『小公子』、『小公女』などの児童文学や英語圏ではヤングアダルトと呼ばれている思春期向けの本をたくさん読んで、英語圏の文学への憧れを抱きました。



### Q イギリス児童文学の魅力は？

A 美しい風景、ユーモア溢れる登場人物、かわいい動物、不思議な魔法など、たくさんの魅力が詰まっているところでしょうか。児童文学というと子どもだけが読むものと思われがちですが、大人になって読むと、子どもの頃には気づかなかったことに気づくことがあります。そういうときに、改めて児童文学って面白いなと思います。

### Q 近年イギリス児童文学はファンタジー作品の名作が多いと思いますがそれは何故ですか？

A ファンタジーと呼ばれる文学ジャンルは、イギリスで確立されたと言われていています。イギリスに元々あった妖精物語や神話、伝説にキリスト教の思想やリアリズムへのアンチテーゼが複雑に混ざり合って、ファンタジーという世界観が出来あがりました。イギリスで生まれたファンタジー作品には、『不思議の国のアリス』、『ピーター・パン』、『ハリー・ポッター』、『指輪物語』などがあり、どれも映画化によって現代の人たちにとってなじみ深いものになっています。ですが『不思議の国のアリス』なんかは、実は150年以上前の作品なんです。近年になってファンタジー作品の名作が増えたというよりは、イギリスは長い時間をかけてファンタジーの名作を輩出する素地を養ってきたのだと言えるのではないかと思います。

### Q では、先生の好きな作品は？

A 『秘密の花園』です。『秘密の花園』はイギリスが舞台の小説なのですが、イギリス生まれアメリカ育ちの作家が書いています。ついでに主人公はインド生まれのイギリス人。心を閉ざした主人公の少女が枯れたバラ園を復活させることで心身ともに健康になっていく、というとても美しい物語なのですが、背景にはイギリス・アメリカ・インドに対する作者の複雑で繊細な感情があります。色々な読み方ができる、とても面白い作品です。

### Q 後期では、アメリカン・コミックスの歴史と背景について講義されるそうですね。

先生はイギリス児童文学が専門なのに、アメリカン・コミックスの授業をするのですか？

A 実は、私は日本の大学ではアメリカ文学で修士号を取っているんです。イギリス文学だけでなく、アメリカ文学についても専門的に勉強してきましたので、アメリカン・コミックスのようなアメリカ独自の文化にも興味があり、今回授業で取り上げることにしました。

### Q アメリカン・コミックスの歴史は？

A これまた遡ると 19 世紀に端を発しますが、最初のヒーローであるスーパーマンが登場したのが 1930 年代で、有名なヒーローたちもほとんど 1960 年代までに漫画になっています。それが現代になって映画化されて再び脚光を浴びているという感じです。

### Q アメリカン・コミックスにスーパーヒーローが多いのは何故？

A 一概には言えませんが、アメリカは強さとは何か、正義とは何か、ということに常に自問自答している国のように思われます。それは愛国心や正義感の強さに由来するのだと推測します。アメリカが抱える意識を象徴するのがスーパーヒーローたちなのだと思います。しかし強さや正義の在り方は一つではないはずなので、ヒーローをたくさん生み出して、試行錯誤する必要があったのではないのでしょうか。

### Q 先生の好きなアメリカン・コミックスは？

A ワンダーウーマン！特に映画のワンダーウーマンが好きです。ワンダーウーマンは、自分の力でスーパーヒーローになった初めての女性キャラクターです。世界の文学でも特に力を入れたいと思っている作品です。

### Q 学生に一言。

A アメリカン・コミックスは娯楽としてとても面白いですよ。派手なアクションや悩みながら戦うヒーローたちがとても魅力的です。でもアメリカン・コミックスはそれだけではなく、アメリカの歴史や文化を色濃く出しているコンテンツでもあります。皆さんにはアメリカン・コミックスを通して、背景にあるアメリカの歴史や文化について考察するスキルを身につけていただきたいなと思います。



クスを通して、背景にあるアメリカの歴史や文化について考察するスキルを身につけていただきたいなと思います。

楽しいお話しありがとうございました。

子供の頃に読んだイギリス児童文学をもう一度読みたいと思いました。

(2019.7 城西大学ホームページから広報課)